

本 社 東京都品川区北品川5丁目9番11号（住友重機械ビル）

パワートランスミッション・コントロール（PTC）事業本部

お客様相談センター 70120-03-8399

ホームページ <http://www.shi.co.jp/ptc/>  
技術情報・カタログ請求

Sumitomo Drive Technologies  
*Always on the Move*

営業所

札幌 札幌市東区北47条東16丁目1番38号 〒007-0847  
TEL.(011)781-9806 FAX.(011)781-9807  
仙台市青葉区一番町3丁目3番16号（オー・エックス芭蕉の辻ビル） 〒980-0811  
TEL.(022)263-2857 FAX.(022)263-5491  
さいたま さいたま市大宮区宮町1丁目114番1号（リクルートビシヤ大宮ビル） 〒330-0802  
TEL.(048)647-0409 FAX.(048)647-1812  
東京 東京都品川区北品川5丁目9番11号（住友重機械ビル） 〒141-8686  
TEL.(03)5488-8370 FAX.(03)5488-8355  
千葉 千葉市稲毛区長沼原町731-1 〒263-0001  
TEL.(043)420-1706 FAX.(043)420-1564  
千葉 横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号（クイーンズタワーC棟） 〒220-6208  
TEL.(045)682-4554 FAX.(045)682-4555  
横浜 静岡市中田2丁目1番6号（村上石田街道ビル） 〒422-8041  
TEL.(054)654-3123 FAX.(054)654-3124  
静岡 愛知県大府市朝日町6丁目1番地 〒474-8501  
TEL.(0562)48-5833 FAX.(0562)48-5875  
大阪 大阪市中央区北浜4丁目7番28号（住友ビル2号館） 〒541-0041  
名古屋 TEL.(06)6223-7117 FAX.(06)6223-7145  
金沢市尾山町3番25号（住友生命金沢ビル） 〒920-0918  
大阪 TEL.(076)261-3551 FAX.(076)261-3561  
神戸市中央区中町通2丁目3番2号（住友生命ビル） 〒650-0027  
金沢 TEL.(078)361-1661 FAX.(078)361-1615  
倉敷市玉島乙島8230番地 〒713-8501  
神戸 TEL.(086)525-6265 FAX.(086)525-6266  
広島市中区橋本町10番10号（広島インテスビル） 〒730-0015  
岡山 TEL.(082)223-5541 FAX.(082)227-5771  
福岡市博多区中洲5丁目6番20号（福岡明治生命館） 〒810-0801  
広島 TEL.(092)283-1672 FAX.(092)283-1677  
北九州市小倉北区浅野2丁目14番1号（KMMビル） 〒802-0001  
TEL.(093)541-3780 FAX.(093)541-3796  
福岡 高松市寿町2丁目3番11号（高松丸田ビル） 〒760-0023  
TEL.(087)821-8235 FAX.(087)851-3381  
北九州 愛媛県新居浜市新田町3丁目4番23号（スミメックビル）  
〒792-0003  
TEL.(0897)35-2078 FAX.(0897)34-1303

名古屋工場 愛知県大府市朝日町6丁目1番地 〒474-8501  
TEL.(0562)48-5243 FAX.(0562)48-2161

修理・メンテナンスのお問合せ先  
品質保証部 サービスグループ

愛知県大府市朝日町6丁目1番地 〒474-8501  
TEL.(0562)48-5323 FAX.(0562)48-5193

CYCLO<sup>®</sup>  
キャプスタン



CJ07N

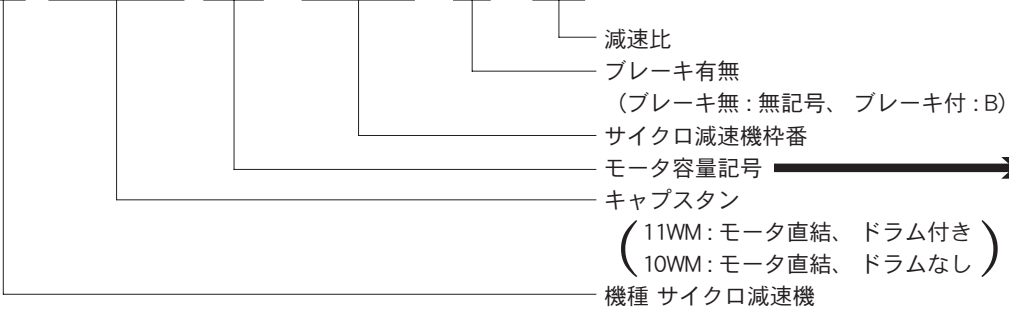


# 特 徴

- 故障がない。
- 保守が簡単。
- 取付スペースを小さく出来る。

## 1 形 式

**C 11WM 36 - 6165 - B - 87**



容量記号	kW	極数
36	2.2	6
56	3.7	
86	5.5	
106	7.5	
156	11	

## 2 構 造

図 1

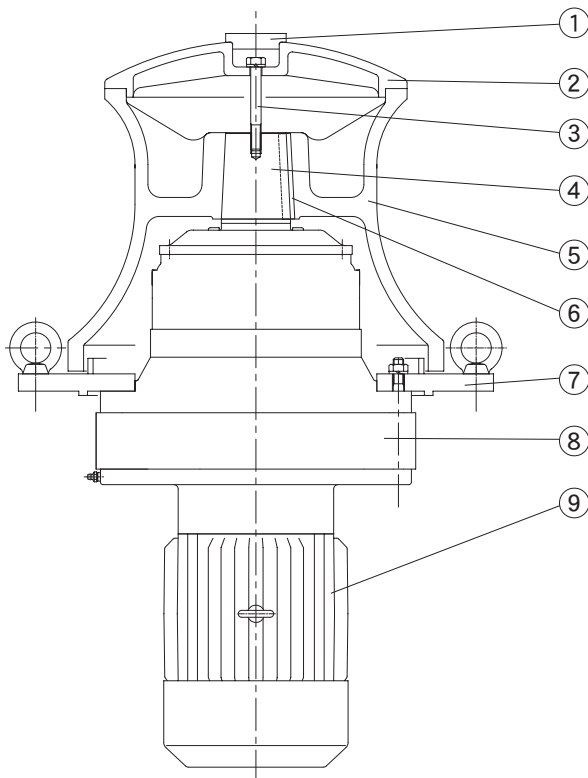


表 1 主要部品名

品番	部 品 名
1	キャップ
2	ドラムカバー
3	上ボルト
4	低速軸
5	ドラム
6	キー
7	取付板
8	サイクロ減速機
9	モータ

### 3 標準サイクロキャプスタン寸法表

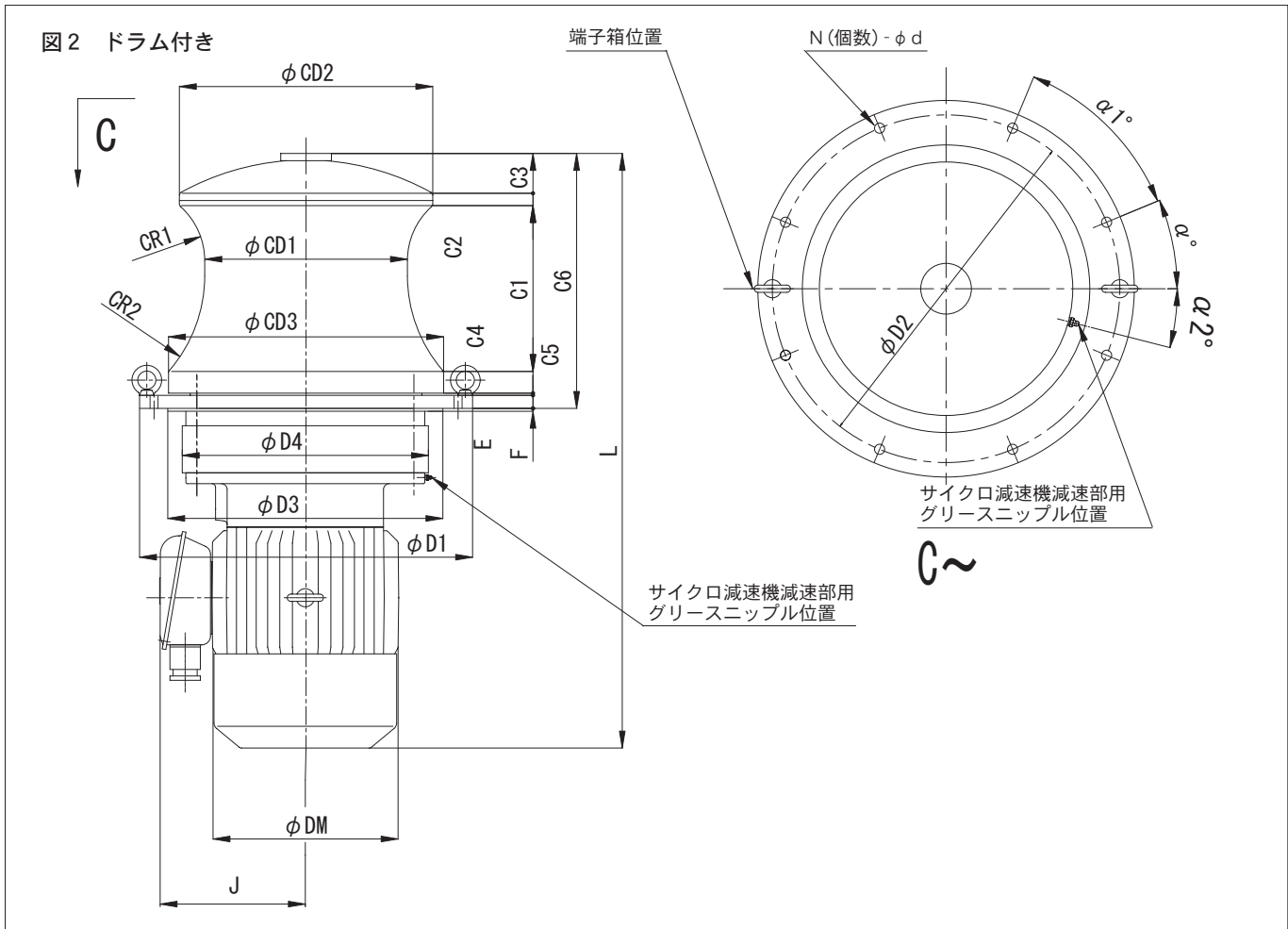


表2 ドラム付き寸法表

形式	減速比	モータ		曳索力×曳索速度		D1	D2	D3	D4	CD1	CD2	CD3	E	F	C1	C2
		kW	r/min	kN × m/min	tf × m/min											
C11WM36-6165	87	2.2	980/1165 (50/60Hz)	9.81 × 10.8/13.0	1.0 × 10.8/13.0	460	420	336	300	280	350	380	18	4	229	4
C11WM56-6175		3.7		14.7 × 10.8/13.0	1.5 × 10.8/13.0	520	480	380	340			397	20	5	251	5
C11WM86-6185		5.5		19.6 × 10.8/13.0	2.5 × 10.8/13.0	550	510	410	370			435	20	5	280	5
C11WM106-6195		7.5		34.3 × 10.8/13.0	3.5 × 10.8/13.0	580	540	500	430			480	25	5	310	5
C11WM156-6197		11		49.1 × 10.8/13.0	5.0 × 10.8/13.0	680	630	580	430			480	30	5	310	5

形式	C3	C4	C5	C6	CR1	CR2	N	d	α	α1	α2	ブレーキなし				ブレーキ付き			
												DM	J	L	質量(kg)	DM	J	L	質量(kg)
C11WM36-6165	55	30	3	352	100	200	6	11	0	60	15	212	159	795	158	212	159	867	168
C11WM56-6175	55	36		392	100	200	8	14	22.5	45	0	251	186	872	216	251	186	967	234
C11WM86-6185	55	35		415	100	200	8	18	22.5	45	0	251	186	955	279	251	186	1050	297
C11WM106-6195	55	67		490	70	400	8	18	22.5	45	0	324	232	1076	406	324	259	1181	441
C11WM156-6197	55	62		490	70	400	12	22	0	30	0	324	232	1120	456	324	259	1225	491

- モータ：全閉外扇カゴ形三相誘導モータ 60分定格 200V 50/60Hz, 200V 60Hz 船用電線貫通金物付。  
：ブレーキ付きも製作致します。FBブレーキが標準です。
- 寸法D3の寸法公差は JIS B0401-1965 h8です。
- 曳索速度はドラム径φ280、使用ワイヤロープ径φ20で算出してあります。
- 減速比は87以外についても製作できますので、ご照会ください。
- モータ仕様が屋外、安全増防爆形、耐圧防爆形の場合はD1、D2、D3寸法が上記寸法と異なりますのでご照会ください。
- 本寸法図の寸法、仕様は予告なしに変更することがあります。

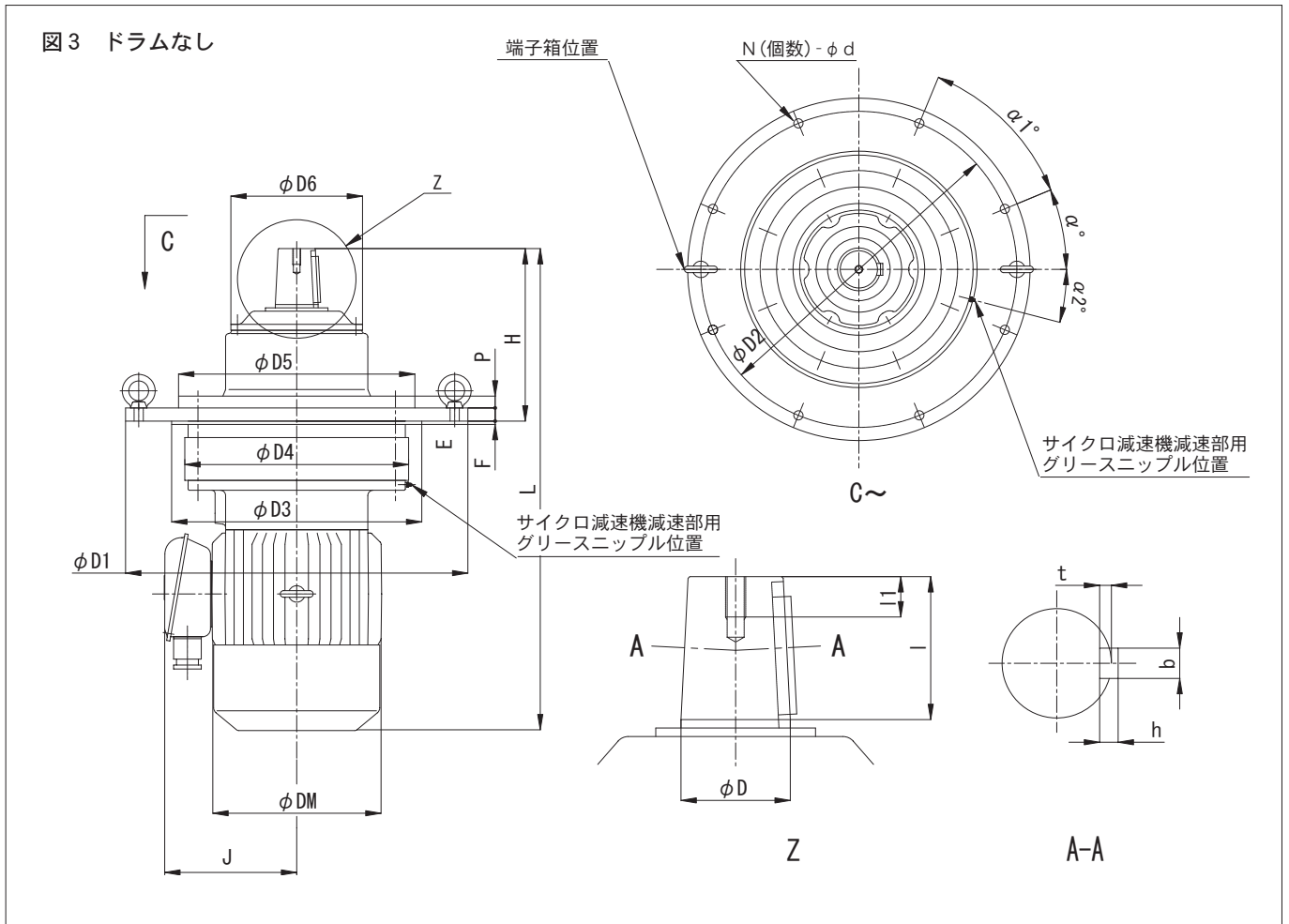


表3 ドラムなし寸法表

形式	減速比	モータ		曳索力×曳索速度		D	D1	D2	D3	D4	D5	D6	H	E	F	P
		kW	r/min	kN×m/min	tf×m/min											
C10WM36-6165	87	2.2	980/1165 (50/60Hz)	9.81×10.8/13.0	1.0×10.8/13.0	55	460	420	336	300	320	170	222	18	4	18
C10WM56-6175		3.7		14.7×10.8/13.0	1.5×10.8/13.0	65	520	480	380	340	359	200	262	20	5	
C10WM86-6185		5.5		19.6×10.8/13.0	2.5×10.8/13.0	80	550	510	410	370	389	223	299	20	5	
C10WM106-6195		7.5		34.3×10.8/13.0	3.5×10.8/13.0	95	580	540	500	430	434	260	365	25	5	
C10WM156-6197		11		49.1×10.8/13.0	5.0×10.8/13.0	95	630	630	580	430	434	260	365	25	8	

形式	N	d	l	e	s	l1	b	h	α	α1	α2	ブレーキなし				ブレーキ付き			
												DM	J	L	質量(kg)	DM	J	L	質量(kg)
C10WM36-6165	6	11	85	5	M10	18	16	10	0	60	15	212	159	665	114	212	159	737	124
C10WM56-6175	8	14	85	5	M12	24	18	11	22.5	45	0	251	186	742	167	251	186	837	185
C10WM86-6185	8	18	100	10	M12	24	22	14	22.5	45	0	251	186	839	215	251	186	934	233
C10WM106-6195	8	18	130	5	M20	34	25	14	22.5	45	0	324	232	951	315	324	259	1056	350
C10WM156-6197	12	22	130	5	M20	34	25	14	0	30	0	324	232	995	366	324	259	1100	401

- モータ：全閉外扇カゴ形三相誘導モータ 60分定格 200V 50/60Hz, 200V 60Hz 船用電線貫通金物付。  
：ブレーキ付きも製作致します。FBブレーキが標準です。
- 寸法D3の寸法公差は JS B0401-1965 h8です。
- キーは JS B1301-1976 平行キーに依っています。
- 曳索速度はドラム径φ280, 使用ワイヤロープ径φ20で算出しております。
- 減速比は87以外についても製作できますので、ご照会ください。
- モータ仕様は屋外, 安全増防爆形, 耐圧防爆形の場合はD1, D2, D3寸法が上記寸法と異なりますのでご照会ください。
- 本寸法図の寸法, 仕様は予告なしに変更することがあります。

## 4 潤滑

サイクロキャプスタンは全てグリース潤滑です。グリースは充てんして出荷していますので、そのまま使用頂いて結構です。

表4 標準グリース

周囲温度	サイクロ減速機		モータ
	コスモ石油	昭和シェル石油	協同油脂
-10℃ ～ 50℃	コスモグリース ダイナマックス SH No.2	アルバニア グリース2	マルテンブ SRL

サイクロ減速機には工場出荷時コスモグリースダイナマックスSH No. 2を充てんしておりますがアルバニアグリース2と混用しても問題ありません。

## 5 保守

### 5.1 サイクロ減速機

#### (1) グリースの補給・交換時期

表5 補給・交換時期

補給	1回/6～12ヶ月	枠番の大きな機種は補給間隔を短くしてください。
交換	1回/3～5年	

表5により、補給・交換を行なってください。

1年以上停止後、運転を開始する時は、グリースが劣化していることがありますから、分解して新しいグリースと交換してください。分解できない場合は、新しいグリースを補給してください。

#### (2) グリースの給排脂手順

##### 補給

- (i) モータ用カバー部のグリースニップルからグリースガンで給脂してください。
- (ii) グリースのまわりを良くするために運転中に給脂してください。
- (iii) 1回の給脂量は表6減速機構部の1/3～1/2程度が適当です。これ以上給脂しますとかくはん熱のために温度が上昇したり、グリースがモータ部へ洩れる恐れがあります。

##### 交換

- (i) サイクロ減速機を分解し、古いグリースを取除いて新しいグリースを充てんします。
- (ii) 充てん量を表6に示します。
- (iii) 軸受部（特に偏心軸受）、ピン・ローラ部、曲線板歯面部へは多量に充てんしてください。

表6 交換時のグリース充てん量(g)

枠番	6165	6175	6185	6195・6197
減速機構部	750	1000	1100	1500
低速軸軸受部	300	500	600	700

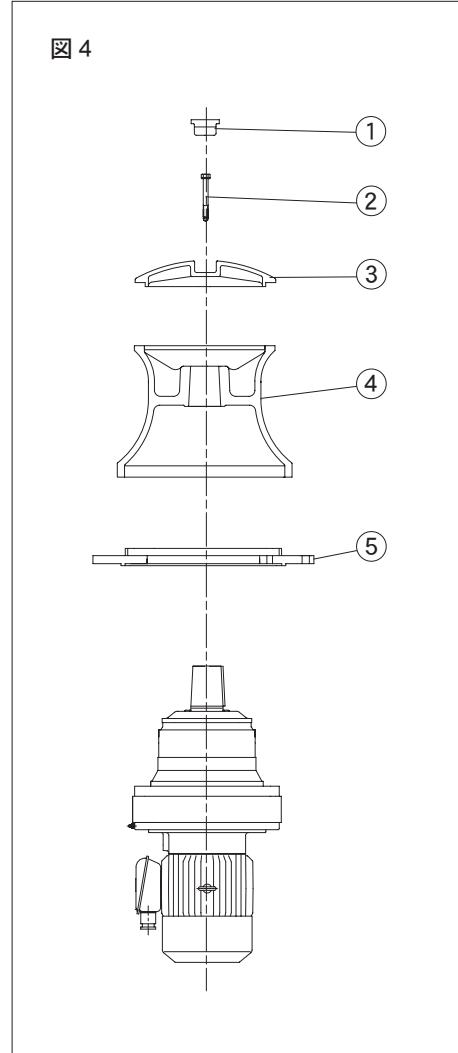
### 5.2 モータ

モータの軸受には、シールドベアリングを使用していますので、補給の必要がありません。なお2～3年を目安とした定期点検時に軸受ごと交換願います。

## 6 分解・組立

### 6.1 分解

- (1) 据付ボルトを取外し、サイクロキャプスタン全体を据付部より取外します。
- (2) ドラム部分を図4の①②③④⑤の順に取外します。
- (3) サイクロ減速機本体の分解は、サイクロ減速機取扱説明書に基づいて行ってください。



### 6.2 組立

- (1) 分解と逆の順序で行なってください。
- (2) サイクロ減速機本体の組立は、サイクロ減速機取扱説明書に基づいて行ってください。

## 7 注意事項

- (1) 曳索荷重、曳索速度は、必ずカタログ値内で御使用ください。
- (2) 曳索速度は、使用ロープ径φ20の場合であり、ロープ径が異なりますと曳索速度も変わりますので、御注意願います。
- (3) 使用ロープ径・曳索荷重・曳索速度が標準以外のものも製作しています。御照会ください。
- (4) 多量の水を長時間かぶる場合には防水カバーをしてください。

## 安全に関するご注意

- 設置される場所、使用される装置に必要な安全規則を遵守してください。  
(労働安全衛生規則、電気設備技術基準、内線規定、工場防爆指針、建築基準法 など)
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
取扱説明書がお手元がないときは、お求めの販売店もしくは弊社営業部へご請求ください。  
取扱説明書は必ず最終ご使用になるお客様のお手元まで届くようにしてください。
- 使用環境及び用途に適した商品をお選びください。
- 爆発性雰囲気中では、防爆形モータを使用してください。また、防爆形モータは危険場所に適合した仕様のモータを使用してください。
- 特に油気を嫌う装置では、故障・寿命等での万一の油漏れに備えて、油受けなどの損害防止装置を取付けてください。